

6月定例会で決まったこと



委員会発議案

◆道路財源確保に関する意見書
(次ページのとおり)

20年度補正予算

◆一般会計

歳入歳出にそれぞれ2億1925万円を追加し、総額を50億3690万円としました。

前年度の繰越金を20年度会計に入金し、約4分の3を預金することにしました。

◆歳入の主な項目

前年度繰越金2億182万円、民生費国庫補助金15000万円

◆歳出の主な事項

積立金(町の預金)1億750

6月定例会は、18日から23日までの6日間の会期で開催され、町長提案の20年度の一般会計補正予算のほか、5件が提案のとおり決まりました。
一般質問は、4〜7ページ掲載のとおりです。

する税率、特例措置の見直しほか。

その他

◆町道路線の認定

星野地区、内ヶ沢から佐ノ渡の1,230m

◆町道路線の廃止

垂柳から安孫沢のさかさ桂入口まで1,938m。県営の林道工事で拡幅整備を実施するため

◆財産の取得

消防ポンプ自動車更新、第12分団配属分(下の写真が更新前の車輜、お疲れ様でした。)

請願

●請願第2号

介護職員の待遇改善について

請願

請願者 岩手県介護老人保健施設協会会長 木川田 典彌



23年間頑張りました。

結果II継続審査

輝くふるさと常任委員会では、閉会中に介護施設等を訪問調査し9月定例会に報告します。

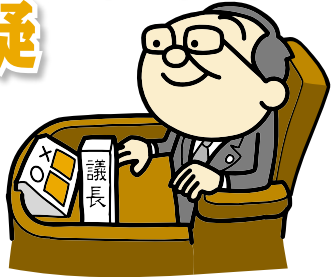
行政報告

①町内建設会社で破産手続きの開始がありました。6月2日従業員14人を解雇したものです。

町では、離職された方々の再就職に向けた支援に最優先で取り組みます。

②微量採血用医療器具の不適切な使用がありました。対象者にお知らせし、肝炎等の検査を進めていきます。

輝くふるさと常任委員会質疑



問 基金(町の預金)の今後の見通しは。

答 基金残高は現在、標準財政規模の20割です。県の市町村平均は21割でほぼ平均並です。積み増しは今後の交付税の配分しだいで検討します。

問 福祉介護施設への交付金の内容は。

答 医療法人敬仁会が建設する小規模多機能型施設がアットホームくずまき隣地に入所9人、通所訪問で計25人規模で従事者7、8人で行われます。

問 小学校トイレの簡易水洗化の内容は。

答 江刈、小屋瀬、吉ヶ沢の3小学校のトイレを改修します。3校とも複数トイレがありますが児童

の減少も考慮して1箇所を水洗化します。

問 これにより、小学校5校、中学校3校すべてが水洗化されたことになりました。

問 ふるさと納税のPRはどのようにするのか。

答 現在ホームページでふるさとづくり寄附金制度を掲載し、お願ひしていますが、住民税の寄附金控除について内容をもりこみます。ふるさと会や、町の広報誌等を通じてPRに努める。

問 農地パトロールは予算が少額だが、有休農地の解消策はどのように図っていくのか。

答 農業委員が3地区18人体制で有休農地の調査を行います。また、解消策として展示圃にそばを作付けします。今回の調査を踏まえて、有休農地を圃面化し農家に周知を図り農地の保全に努めます。

問 消防ポンプ自動車等の更新基準年数は。

答 おおむね20年です。9分団、6分団が順次更新予定です。

問 消防ポンプ自動車等は特殊で高額なので各分団の消防林の活用を検討してはどうか。

答 各分団と運用を協議する。

議員発議による意見書

道路財源の確保に関する意見書

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な施設であり、その整備を緊急かつ計画的に推進することが必要である。

本町は、交通手段をすべて道路に依存しており、道路は「命の道」であるにもかかわらずその整備が立ち遅れている。日常の暮らしを支える最も基本的な生活基盤である道路の整備を求める地域住民の声は切実なものがある。安全で安心できる社会の実現と地域間の連携・交流を活性化させるなど地域社会の発展のためには、高規格幹線道路等、骨格となる道路から市町村道にいたるネットワークの構築が重要かつ緊急の課題である。

このような状況の中、政府において道路特定財源を21年度か

ら一般財源化することとした基本方針が閣議決定されたが、活力ある地域づくり、自立と均衡ある国土発展のため、地方における道路整備の重要性を深く認識され、財源確保に万全を期されるよう強く要望する。

送付先 内閣総理大臣ほか

確保されないと、地方の国道、県道や町道の整備も進みません。



歩道設置が待たれる堀の内橋